

事業番号	事務事業名	津山・鏡野間バス連携事業費	所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00269	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠 雄策
	施策名	49 公共的交通機関の充実	根拠法令等	道路運送法 地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱(地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	津山ごんごバスの西循環線を延伸して鏡野町に乗り入れる事業 延伸は町南部のプラント5などで、他の系統路線と接続し、津山市をはじめ町内各地地域への移動を図っている。 事務局は津山市で、鏡野町は負担金の支払い業務を行なう。	中鉄北部バスのダイヤ改正などの影響もあり、平成29年度頃から定住自立圏内の地域間移動の改善を図る目的で検討された。 平成30年11月から翌年9月まで実証運行を行ない、平成31年(令和元年)10月から本格運行。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績	12,754 12,754	12,143 12,652	11,993 12,497	12,300	12,000
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 便利に移動できるようにする	ア バスの便数	便	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6	6
イ 多くの人に利用してもらう	イ 町内利用人数(プラント5経由路線乗客数) ※R1は4月~9月までの6か月間の実証期間中の実績	人	目標 実績 達成率	5,000 6,377 127.5%	12,000 12,770 106.4%	12,000 14,423 120.2%	12,000	12,000
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 負担金の支払い	ア 支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 2 200.0%	1	1
イ 津山市との協議	イ 協議回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 1 33.3%	3	3
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業		事業番号				
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		07 03		津山・鏡野間バス連携事業費				
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	2,500	2,181	1,302	2,360	2,360	-879	一般財源	1,177	2,113	1,101	2,360	2,360	-1,012		
合計	2,500	2,181	1,302	2,360	2,360	-879	合計(A)	1,177	2,113	1,101	2,360	2,360	-1,012		
財源名称					従事正職員人数		1	1	1	1	1				
					延べ業務事務時間		40	40	40	40	40				
					人件費計(千円)(B)		140	134	134	137	137	0			
	最終予算額		1,302 千円		予算執行率		84.5%		トータルコスト(A+B)		1,317	2,247	1,235	2,497	2,497
主な 支出事業内容 (予算)	負担金補助及び交付金(負担金)				1,302 千円		主な 支出事業内容 (決算)	負担金補助及び交付金(負担金)				1,101 千円			

事業番号	00269	事務事業名	津山・鏡野間バス連携事業費	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	---------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
利用者は順調に増加している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
プラント5バス停に待合所を整備し、バス待ち環境の改善を図った
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
ごんごバス西循環線自体も、鏡野町に延伸することによって利用者が大幅に増加しており、広域連携により改善した実績となっている

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	定住自立圏構想の中での事業
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	津山市からプラント5、鏡野病院等への利用を促すことができ、妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	中鉄北部バスの路線減を受け、津山市と鏡野町をつなぐ路線として延伸運行を実施し、利用者が増加していることから、目的は果たせている。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	目標水準にあるが、更なる利用者増により、町からの補助額の減少は図れる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	日中の津山市までの路線がなくなる	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	利用者が増えている状況なので、当面は現状を維持しつつ、改善点を検討してく	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	利用者の増加による
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	担当者 1人	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	利用者が増加傾向である。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 なし																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
なし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							